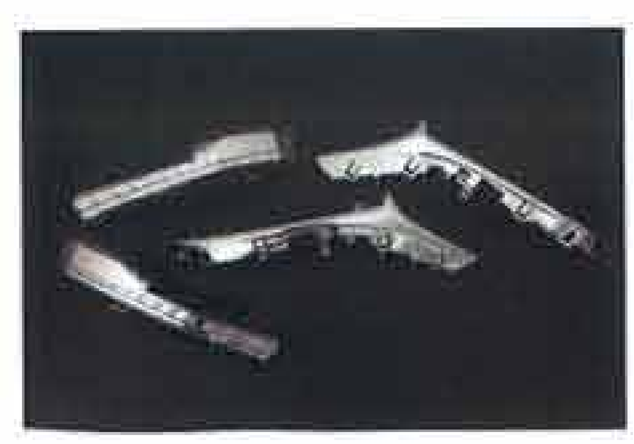
気品を損なわない純正昇華のデザイン

AVEST
VERTICAL ARROW
LED DOOR MIRROR WINKER

■ 50LS／100LC用ヴァーティカルアローLEDドアミラーウインカー　tel 053-414-5416 http://avestparts.jp



アベストはこれまでレクサス40LSの前・中・後期、それぞれ専用品のヴァーティカルアローLEDドアミラーを用意してきた。そして昨年発表された50LSにもヴァーティカルアローをいち早く製作。これまでとはデザインを一新し、発光面を小振りかつ、より気品あるシンプルなタイプに仕上げた。

「純正らしさを損なわず高級感のある物を、というコンセプトで設計しました。50系のライトの特徴である立体感を取り入れ、あえて社外品らしさを抑えました」と鵜飼サン。

50LSと言えば、L字が横に浮かぶ奥行きのある光り方を表現したテールランプが話題となったが、その特徴をヴァーティカルアローで再現。目内のアクリルの周りをメッキで覆い、発光を真横や真下に反射。平面であるはずの発光面に奥行きを与え、純正ライトとの親和性を図る。以前の3Dタイプと比べてインパクトという面では譲るものの、高級感や自然な印象はずば抜けて高い。現行車かつ国産最高級車である50系には、現時点で間違いなく最良のデザインであると言える。

ドレスアップパーツであるからには純正に似せただけではつまらない。ヴァーティカルアローは機能性と華やかさを強化するシーケンシャル発光も可能だ。純正のドアミラーウインカーは細いバーが点滅するのみ。ヘッドライトとテールランプのウインカーはシーケンシャル発光するだけにどうしても物足りなさを感じてしまうが、ヴァーティカルアローは違う。以前の発光面をスムーズに光が走り、高級感と先進性を補完する。ジワッと漏れることなく綿密にブロック分けされた光は後付け感を一切感じさせず、純正品と見紛うほどのクオリティの高さを誇る。

純正らしさを損なわない工夫はサイズ感にも現れていて、車体側に向かうほど太くなる形状だが、純正よりもわずかに太い程度。付属のメッキガーニッシュは内側のレンズ取り付け部を変更しただけで、デザインは純正ガーニッシュと全く同じだ。

なお既存モデル同様、ブルーまたはホワイトに点灯するオプションランプも装備。購入時にどちらかを選択する方式だ。撮影したのはブルーモデルだが、ホワイトも先進的なイメージを与えられる。ドレスアップには欠かせないカラー。サブ的な機能だが、ここぞという時に違いを見せられるのが心強い。

現時点で価格や発売日は未定だが、テストを重ねて精度を向上させ、万全の体制で世に送り出す準備が着々と進んでいる。なお、50LSと同形状のドアミラーを採用している500LCにも対応。どちらもレクサスのフラッグシップを担うツートップだが、未だドレスアップパーツが少ないのが難点。他のオーナーに先んじて個性を演出する一手として、新型ヴァーティカルアローは唯一無二の選択となる。